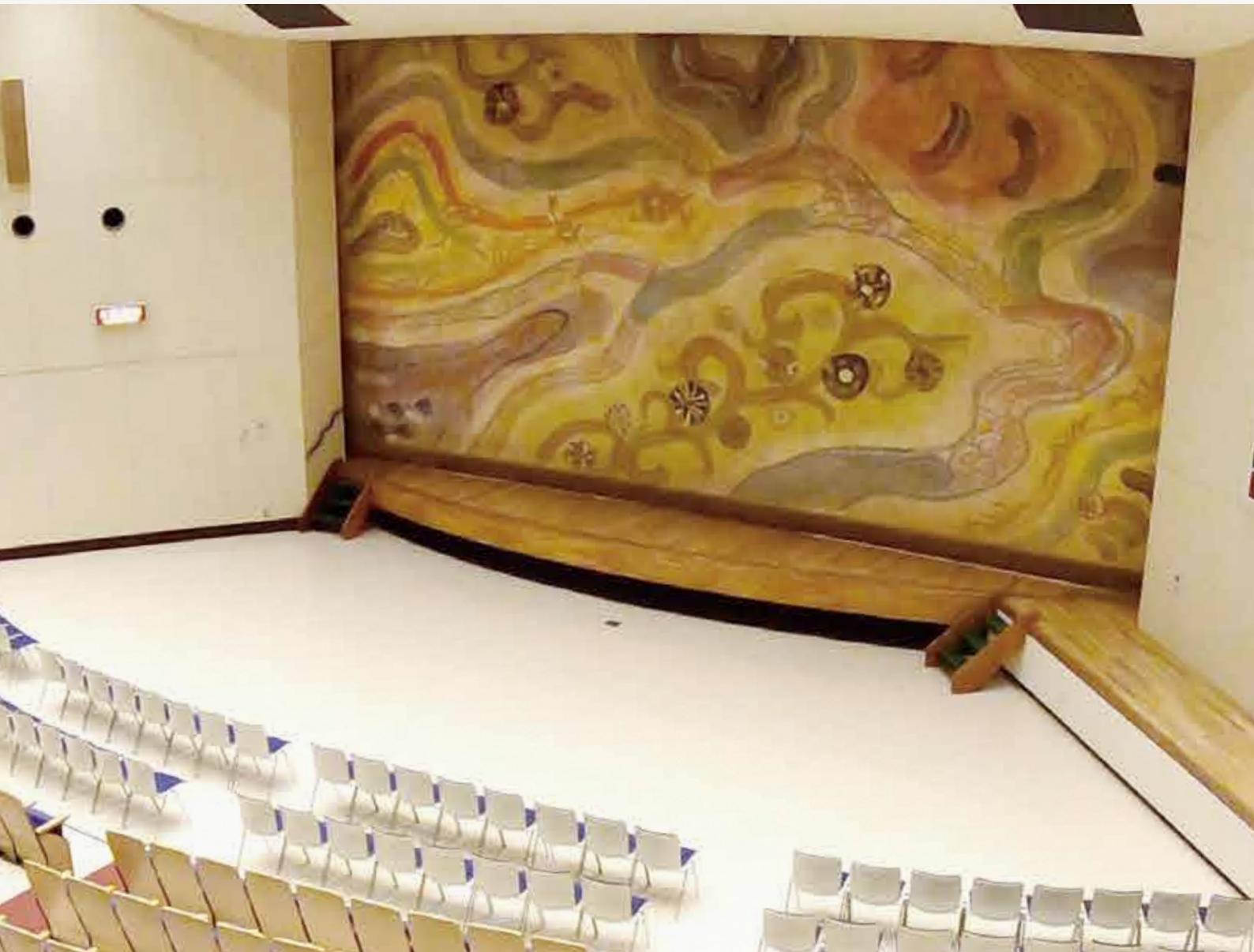


第3回 緞帳プロジェクト企画イベント 生誕130年・人間国宝

芹沢銈介と緞帳



写真：港北公会堂の緞帳「陽に萌える丘」

2025年11月23日(日)3:00～15:30(開場12:30)

会場 横浜市港北公会堂 入場無料(定員300人)

特別講演

「民藝運動と芹沢銈介」 日本民藝協会 村上豊隆氏

「緞帳に魅せられて～川島織物セルコンの緞帳製作」 (株)川島織物セルコン 有賀友紀氏

染と織の

芸術と、も 紺帳のづくくりの世界

今年2025年は、港北公会堂の紺帳「陽に萌える丘」をデザインした人間国宝・芹沢銈介氏の生誕130年にあたります。

本イベントでは講演と展示を通して、芹沢と民藝運動との繋がり・歴史や製作工程からみる「紺帳」の魅力をお伝えします。紺帳プロジェクト第3回企画として、港北区の知られざる宝「陽に萌える丘」の美術的・地域遺産の価値を知っていただきたいと考えています。

イベントプログラム

◇13:00～(開場 12:30)◇

挨拶(20分) はじめに — 区長メッセージ・紺帳解説 —

映像上映(30分) 「人間国宝・芹沢銈介が遺した宝物」

講演①(40分) 「民藝運動と芹沢銈介」

【講師】村上豊隆氏 日本民藝協会『民藝』編集部

大学在学中に日本民藝館にて学芸員実習を受講し、学芸員資格を取得。2003年より現在まで日本民藝協会に勤務し、主に機関誌『民藝』の編集実務などを行う。また、祖父母の家が港北(大曾根)にあつたので、小さい頃から港北公会堂の紺帳には親しみがある。

休憩(15分)

講演②(40分) 「紺帳に魅せられて～川島織物セルコンの紺帳製作～」

【講師】有賀友紀氏 (株)川島織物セルコン 織物文化館館長

2004年、川島織物(現・川島織物セルコン)入社。広報を通じて織物文化の魅力を発信し続け、2024年より川島織物文化館館長を務める。伝統と革新の融合をテーマに、織物文化の継承と次世代への発信に取り組んでいる。

◇15:30 終了予定◇

ぜひご覧ください

展示

ホール

芹沢銈介作 紺帳原画 4点など

ロビー

芹沢銈介関連美術館・書籍の紹介

販売

◎日本民藝協会発行『民藝』

◎港北区関連書籍・DVD

抽選 川島織物セルコンオリジナルストラップが当たる!



イベントの最後に抽選を行います。当選した方には、紺帳の残糸で作られた川島織物セルコンオリジナルタッセルストラップをプレゼント!

知っておきたいキーワード

◆「陽に萌える丘」(1978年製作)◆



1978(昭和53)年、港北区役所の新庁舎の建設に合わせて建てられた、港北公会堂のステージ幕として製作されたもの。江戸時代の古絵図「鶴見川流域絵図」をモチーフに、芹沢銈介氏が原画を描き、京都の川島織物(1843年創業・現在の川島織物セルコン)が織りあげた。

◆ 芹沢銈介 (1895-1984) ◆



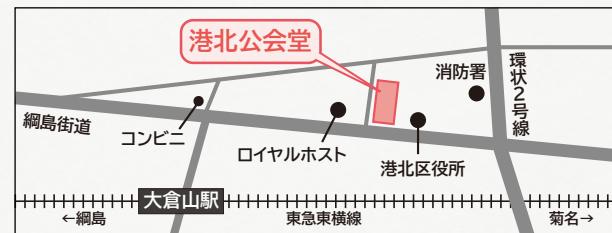
1895(明治28)年、静岡に生まれる。日本を代表する染色家であり、また民藝運動の主要な参加者でもあった。型紙と防染糊を用いて文様を染める「型絵染」の手法で、1956(昭和31)年に重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定された。

芹沢銈介紺帳プロジェクトについて

2019年4月に、港北公会堂紺帳の由来と美術的価値を紹介する目的で集まった市民グループです。活動は趣旨に賛同していただいた方々からの支援金で運営しています。

【お問い合わせ】

芹沢銈介紺帳プロジェクト HP <http://serizawadoncho.info/>



港北公会堂: 〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町 26-1

○アクセス 東急東横線「大倉山駅」下車徒歩約 7 分